

韓日米「国際シンポジウム」(2013.2.22.)のご報告

2012年8月31日に開催された「無償教育の漸進的導入」に関する日韓(韓日)連帯シンポジウム(於:日本京都)に引き続き、**2013年2月22日には韓日米共同による「大学教育の発展と無償教育の実現のための国際シンポジウム」(於:韓国ソウル)が開催**されました。

大学評価学会からは、「国際人権A規約第13条問題特別委員会」が対応窓口となり、渡部昭男(学会理事/事務局長、神戸大学教授)を団長に、日永龍彦(学会理事/共同副代表理事、山梨大学教授)、細川孝(学会幹事、龍谷大学教授)が参加しました。

○シンポジウムの概要

以下に当日要項冊子(全68頁)の「プログラム(日本語)」「シンポジウム趣旨文(日本語)」「冊子目次(日本語)」を収録しますので、ご覧下さい。

○日本側の発表

- ・セッション1 韓国・日本・アメリカの大学における授業料の問題解決と無償教育の実現運動の現況と課題

発表1 渡部昭男「日本における「無償教育の漸進的導入」運動の進展」

- ・セッション2 韓日の高等教育における公共性強化と大学改革のための運動の現況と課題

発表1 日永龍彦「日本の大学評価制度の現況」

- ・セッション3 討 論

討論6 細川 孝「日本における「ブラック大学」とのたたかい」

○特 徴

韓国において、ソウル市立大学が**2012年度**(2012年3月~/韓国では学校年度は3月から新年度となる)から登録金を半額化したのに続き、**2013年度からは江原道立大学や忠清南道立大学でも登録金が減額**される予定です。これは、市長選挙や道知事選挙において「登録金半額(減額)化」を公約に掲げた候補が当選したことによります。

日本側からすると、「登録金半額化」が自治体の首長選挙の公約になること自体が驚きです。韓国では、あまりにも高い大学登録金を半額化するという課題が、**広く市民運動のテーマ**となっていることが特徴です。2012年4月に行われた総選挙でも多くの候補が、また12月の大統領選挙でも朴&文両候補が、半額化を公約に掲げていました。**2013年2月25日に就任した朴新大統領が公約をどのように果たすのかが、注目**されています。

*写真入りの関連記事

①NPO 法人日本希望製作所のHP→ <http://hopemaker.org/?p=3258> (日本語)

②韓国・参与連帯のHP→ <http://www.peoplepower21.org/StableLife/995620>

(画面はハングルですが、日本語に自動翻訳されます)